

武道国際化で意見交換 大相撲会議、柔道の山下会長らと

12/9(月) 16:38配信



「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第4回会合に出席する全柔連の山下泰裕会長（右から2人目）、中井憲治弁護士（同3人目）ら9日、東京都内で開かれ、全日本柔道連盟の山下泰裕会長ら武道界から人材を招き、競技の国際化について意見交換した。

日本相撲協会に設置された「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第4回会合が9日、東京都内で開かれ、全日本柔道連盟の山下泰裕会長ら武道界から人材を招き、競技の国際化について意見交換した。

出席者によると、山下会長は世界に広がることによって規則などが変わったことに触れた。同会長は報道陣の取材に「世界の人々が見て分かりやすいように、魅力的になるように、楽しめるように変わっていく」と述べ、対戦相手への敬意が大切とし「柔道を通して日本の心が世界に伝わっている」と語った。

時事

全柔連山下会長が出席 大相撲の有識者会議

12/9(月) 18:33配信



日本相撲協会が設置した「大相撲の継承発展を考える有識者会議」が9日、東京都内で開かれ、日本オリンピック委員会会長で全日本柔道連盟の山下泰裕会長を招いて、競技の国際化を議論した。

山内昌之委員長によると、山下会長は五輪競技として普及していく過程で青色の柔道着が導入されたことやルール改正が行われたことなどを話題にした。

山下会長は会議後に「柔道を通して日本の心が世界に伝わる一方、世界に開くと日本のものが世界のものになり、世界の人が見て分かりやすく、楽しくなるように変わっていく」と説明。相撲界との関わりについては「同じ日本古来の武道としてできることは協力していきたい」と述べた。

日刊

大相撲発展へ「有識者会議」

「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第4回会合が9日、都内のホテルで行われた。フフ下バンクの王貞治球団会長らが参加し約2時間、国際化について議論された。この日は8人のメンバーのほか、5日

の国際オリンピック委員会（I）で新委員に推薦されることが決まった柔道の山下泰裕氏と、弁護士の中井憲治氏を招いて議論を深めた。

相撲発展へ「有識者会議」の助言

「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第4回会合が都内で開かれ、柔道界から全柔連の山下泰裕会長、剣道界からは競技歴50年以上の中井憲治弁護士を招き、国際化についての意見交換を行った。山下会長は「国際化を通して得たもの、失ったものについて普及、日本の心が世界に伝わっていく」と語り、「世界の人が見て分かりやすいように」と五輪競技になってルールなどが変化せざるを得ないリスクも説明した。中井弁護士からは剣道がルールを変えない

スポニチ

報知

柔道山下会長から「大相撲国際化」

日本相撲協会は9日、都内で「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第4回会合を開いた。大相撲の国際化を見据え、全日本柔道連盟の山下泰裕会長（62）ら5輪競技として発展してきた柔道について、山下会長は「日本の心も世界に広げたい」と対戦相手への敬意などを挙げつつ、国際化によりルールは「世界の人々が見て分かりやすいよう

読

12/10 読え 有識者会議第4回会合

大相撲の将来あるべき姿について議論する日本相撲協会の第三者機関「大相撲の継承発展を考える有識者会議」（委員長・山内昌之、東大名菅教授）の第4回会合が9日、都内のホテルで開かれた。相撲同様、日本の伝統武道である柔道、剣道の専門家も招かれ、競技の国際化のあり方について意見交換を行った。

「大相撲の継承発展を考える有識者会議」メンバー（敬称略）

【特別顧問】今井敏	経団連名誉会長
【委員長】山内昌之	歴史学者、東大名菅教授
阿刀田高	作家
王貞治	プロ野球・ソフトバンク会長
松本白鶴	歌舞伎俳優
大谷剛彦	元最高裁判事
紺野美沙子	女優
佃本敬一	弁護士、元検事総長

柔道界からは山下泰裕全日本柔道連盟会長、剣道界からは全日本剣道連盟で監事などを務めた弁護士の中井憲治氏が参加。記者会見した山内委員長によると、五輪競技として国際化した柔道では、普及に伴い、ルールが変更された点などが説明された。会議後、報道陣の取材に対して山下会長は「柔道は世界の人々が見てわかりやすく、魅力的になるよう変わった」と説明し、「柔道が広まったことで（礼法など）日本の心が世界に伝わった」とも話した。

中井氏は剣道も国際普及を目指してはいるが、「広めるのはあくまで日本の伝統文化に培われた剣道」と方向性の違いを強調。普及しても固有の剣道のルールを変えざるを得ないとの認識も示したという。議論の中では、このほか、指導者でもある師匠の重要性も指摘された。会議に出席した八角理事長（元横綱・北勝海）は「師匠がしっかりしなければ駄目。改めて人を育てていくことは大変だと思った」と述べた。

山内委員長は「相撲の国際化を考える際に、非常に重要な考え方と提言だった」と総括。いずれの武道も人格形成の場であることとを念頭に「相撲は生涯教育。入門時から教育、稽古の重要性を痛感した」と語った。

ザンスポ

大相撲の継承発展を考える有識者会議



日本相撲協会に設置された「大相撲の継承発展を考える有識者会議」の第4回会合が9日、東京

上、剣道に造詣が深い鎌倉の門下生、開くリスクもあつと説明した。中井氏は「剣道では国際化とはいわねえ。外国に合わせる方向性は持っており、日本で培われた伝統文化を普及する考え」と強調。同じ武道でも異なる立ち位置で提言

ザンスポ 12/10

2019年 12月10日

「第4回大相撲の継承発展を考える有識者会議」